

平成28年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

I 自己評価

2 評価する領域・分野	渉 外 部	
3 現状 ・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析 ・本部役員会・常任委員会での協議	<ul style="list-style-type: none"> ・学年懇談会の運営方法についての検討 ・ふれあい広場や文化祭バザーなど各種育友会行事の内容充実 ・保護者向け文書の確実な伝達 ・育友会予算編成の見直し 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・育友会活動の活性化および学校教育活動への協力・支援 県ガイドラインに則した予算編成の見直し ・同窓会活動の活性化および学校教育活動への協力・支援 	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・育友会本部役員会・常任委員会・母親委員会 育友会だよりの発行 ・同窓会本部役員会・定期総会 同窓会報の発行 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 本部役員、常任委員による協議 (2) 育友会行事に向けての協議 (3) 会報による伝達・周知 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 会員の相互理解 (2) 本部役員による反省 (3) 職員の意見 	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評 価
<ul style="list-style-type: none"> (1) 教育活動および部活動の支援 (2) 各種育友会行事の開催、本部役員会・各種委員会の開催 (3) 会報の発行 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学校からの要望の実現度 (2) 各種行事の実施内容 効率的な予算執行 (3) 会員の興味・関心度 各種行事への参加 	<ul style="list-style-type: none"> Ⓐ B C D Ⓐ B C D A Ⓑ C D
11 成果・課題	<p>○育友会本部役員会での協議に基づき、役員の協力体制のもと各種育友会行事を成功に導いた。</p> <p>○昨年度から1・2年生対象の学年懇談会を学年ごとに開催し、2年生では出席率の減少が見られたが、1年生は昨年度を大きく上回り、さらに学年に応じた魅力のある内容とするため検討し充実させたい。</p> <p>●3年生保護者進路説明会の出席率が低下し、来年度は実施期日や内容を大きく変更して開催する。</p> <p>●「ふれあい広場」は会場確保が困難となり、多治見市開催の場合には経費も膨らんでいる。多治見市・瑞浪市での交互開催を見直し、テラスゲート土岐での開催を検討している。内容についても協議し、地元の方々や中学生に向けてのPR方法を検討し、さらに土岐商を身近に感じていただけるイベントとして開催したい。</p> <p>●例年役員選出作業が難航している。役員組織について見直し、役員を減少させ選出作業をスムーズにし、且つ組織運営についても支障のない形で改善していきたい。</p>	
12 来年度に向けての改善方策案		
<ul style="list-style-type: none"> (1) 県ガイドラインに基づいた育友会会計の見直しと予算編成 (2) 学校教育活動への協力および支援 (3) 育友会行事の開催方法、内容の検討 (4) 同窓会行事の内容充実、帰属意識の啓蒙 		

総 合 評 価

A Ⓑ C D